

# 令和6年度 認定こども園 貢川進徳幼稚園 自己評価結果公表シート

## 1、学校の教育・保育目標

(教育・保育目標)
・ 自らすすんで、いきいきと行動する子      ・ 情操ゆたかに、思いやりの心を持つ子      ・ 広い視野をもち、よく考え工夫する子
(私たちの願い)
子どもが園の主役です。園に集う一人ひとりの子どもがそれぞれの個性を発揮し、園を染めていってほしい。
その願いをもとに私たちは、子どもの自発的な学び・本物の体験と、心も体も落ち着ける場所を提供できるよう、努めます。
また子どもを支える保護者に寄り添い、ともに子育てをしていく姿勢を持ちます。

## 2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した 学校評価の具体的な目標や計画

①子どもの実体験の充実を図ります。
・ 自然体験プログラムを活用し、子どもが本物の体験や発見などを楽しみ、 自然の不思議さや興味の広がりなどにつなげる。また保護者の参加も検討する。
・ 親子での思い出づくりとして、年長児の体験を充実させる。
②ICT化の推進と各種の見直しを進めます。
・ 保護者や地域への情報発信などを見直し、ICT化ツールの導入を検討します。
・ 各種の発信物や業務について必要性和内容を精査したうえで、ICT化や業務内容の見直しなどを行っていきます。

## 3、評価項目の達成及び状況

評価項目	結果	理由
①子どもの実体験の充実を図ります。	B	春には自然体験プログラムを活用し、子どもが本物の体験や発見などを楽しむ機会を設け、希望者は保護者も参加できるようにした。年長児の親子での思い出づくりは、新しい遠足などを検討したが、より身近な場所でふれ合いを重視したいという思いのもと、親子レクリエーションとした。一定の実体験の機会が得られたが、今後もさまざまな活動の充実を検討するとともに、食にちなんだ体験などにもつなげていきたい。
②ICT化の推進と各種の見直しを進めます。	B	地域・保護者向けのSNSの情報発信のあり方を検討し、ブログ・Instagramなどのツールを使い分けて発信することができたが、引き続きより伝わりやすいような情報発信を模索し、アップデートしていく。子育て支援「おひさま」の申し込みを電話や対面をから、ネット予約に切り替えたことで、予約数と利用者の利便性の向上につながるとともに、園の業務軽減が図れた。在園の保護者向けのICT化のシステムについては検討を進め、業者選定と導入の手続きを進めたが、具体的な契約締結までに至らなかった。業者選定は進んでいるため、次年度の導入と運用開始に向けて取り組んでいく。

A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない D:取り組みが不十分である

## 4、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
①子どもの食育の充実を図ります。	・ 年長児は季節ごとの畑の栽培に取り組み、専門家と連携した食に関連した活動も検討する。 ・ 年長児だけでなく、他の学年も味覚教室のプログラムが体験できるよう、働きかけと検討を行う。これらの活動から食を身近に感じ、食べる楽しさを高めていく。
②ICT化を推進します。	・ まずは紙プリントの電子化を進め、保護者の利便性を向上させる。 ・ ICTツールの導入において、年度内に実現の可能性を探る。